

地震本部の成果の普及展開に 関する現状と課題

平成28年11月29日
地震本部事務局

地震本部の広報活動の目的

- ・ 地震調査研究推進本部の研究成果の国民への普及・発信の最終的な目的は、具体的な防災・減災対策をとってもらい、災害時の被害軽減に貢献すること。
- ・ そのためにも、常に不断の取組を行っていくことが必要。

【最近の広報見直しの事例】

- ・ 地震本部パンフレット類の充実（平成26年度）
- ・ 地震本部ホームページのリニューアル（平成27年9月）
- ・ 活断層長期評価へのランク分け導入（平成28年8月）

地震調査研究の成果を着実に国民や地方公共団体等の防災・減災対策に繋げていくためには、地震調査研究の目標や成果を分かり易く国民に示し、地震に関する正しい理解を得られるようにするとともに、地震の発生に伴う被害の認識や、それに備えるための防災・減災対策の必要性等に関する意識向上に繋げ、具体的な取組に結びつけていくことが重要である。

（新総合基本施策P28から抜粋）

地震本部の広報活動の課題例

- ・ 効率的、効果的な広報の実現という観点から、強みを活かした関係機関との連携強化

【今後実施予定の気象庁との連携例】

- ・ 地域の特徴に応じた活断層解説資料等の作成
- ・ 上記資料を用いた、地方気象台を通じた地方自治体防災担当者への説明
- ・ 気象庁、文科省合同イベントの開催（平成29年2月予定）

- ・ 色の使い方について、地震本部として統一的な方針の必要性
- ・ 各種地図における確率値の考え方の混同

【参考】地震本部の広報素材①

活断層調査

対象地域に分布する活断層で発生する地震の総合的評価

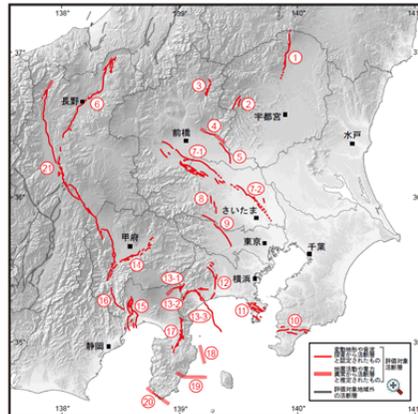
過去地震の記録・観測調査

主要活断層帯の長期評価



※熊本地震を受け、ランク分けを導入

活断層の地域評価

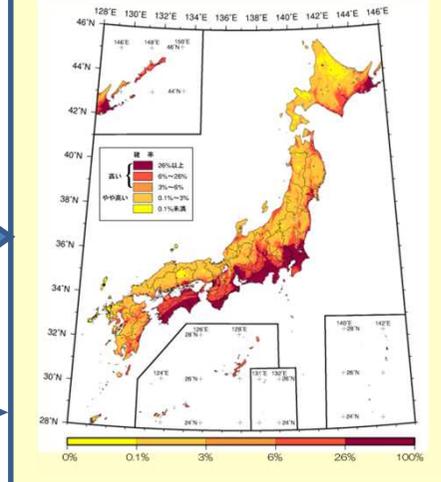


※九州・中国・関東地域を公表済み

海溝型地震の長期評価



確率論的地震動予測地図



【参考】地震本部の広報素材②

○パンフレット類

【一般向け】

- ・ 予測研究の最前線
- ・ わが国の地震の将来予測 — 全国地震動予測地図 —
- ・ 地震がわかる！ Q & A (英語版あり)

【中学生・高校生以上向け】

- ・ 地震を正しく恐れる (英語版あり)

【子ども向け】

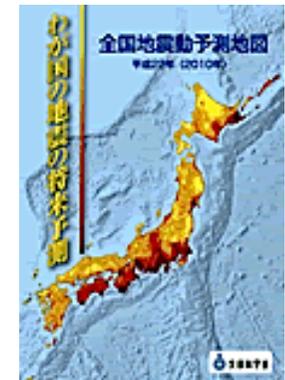
- ・ 地震をみてみよう
- ・ 地震を知ろう — 地震災害から身を守るために — (英語版あり)

【防災担当者向け】

- ・ 地震がわかる！

地震に備わらない国にする
地震本部
政府 地震調査研究推進本部

< 予測研究の最前線 >



【参考】地震本部の広報素材③

○地震本部HP

トップページ

各種パンフレット

(ホーム>地震・津波の知識>各種パンフレット)

防災・減災のための素材集

(ホーム>素材集)

利用の対象や画像の内容等に応じた検索ができる

【参考】「色」に関する指針等

○ISO 22324

Societal security – Emergency management – Guidelines for colour-coded alerts
カラーコードによる警報に関するガイドライン

- ・ 危険度が高い順に「赤→黄→緑」と定義
- ・ 黒や紫は赤より危険度が高い

【現行の地震本部の成果物における配色】

- ・ 確率論的地震動予測地図
→ 確率が高い順に「赤紫→濃い橙→薄い橙→黄」
- ・ 震源断層を特定した地震動予測地図
→ 震度が大きい順に「赤→橙→黄→黄緑→緑→青→水色」
- ・ 活断層の長期評価
→ 地図の背景色を緑とし、ランクが高い順に「赤→橙→黒」、Xランク（地震発生確率が不明）は灰色
（課題）ランクの低いものに黒が用いられている
- ・ 海溝型地震の長期評価
→ 色分けをしていない
- ・ 活断層の地域評価
→ 地図の背景色を灰色とし、活断層は「赤、灰色」
（課題）ランク分けに伴う色の区分が未反映